

札幌大通ピヤガーデン開催

透明の亚克力板越しに乾杯する来場者たち=31日午後5時15分、札幌市中央区大通西8 (大石祐希撮影)



板越しに乾杯 大通公園にミニビアガーデン

新型コロナウイルス感染拡大の影響で今夏は中止となった「さっぽろ大通ビアガーデン」の代替イベントとして、規模を大幅に縮小したミニビアガーデンが31日、札幌市中央区の大通公園西8丁目で開幕した。席数は例年の2%程度に抑えられ、テーブルには飛沫(ひまつ)拡散防止の亚克力板が設けられるなど感染対策が徹底される中、来場客は喉を潤した。札幌市や札幌観光協会などで

つくる実行委の主催。用意された席は計252席。事前予約が必要で、実行委は来場者を検温し、飲食時以外のマスク着用を求めるなどの感染対策を施す。市によると31日は約800人が来場した。友人2人と訪れた札幌市東区の北大4年久保雄輝さん(21)は「席が広くて感染防止策がしっかりしているから安心して飲める」と話していた。16日まで開催。営業時間は正午から午後9時まで。(袖山香織)

サイトの利用を呼び掛ける岩見沢市観光協会の職員



岩見沢の特産品 通販で

市観光協会がサイト開設

【岩見沢】市観光協会は、地元の特産品を扱うインターネット通販サイト「iwamizawaBOX(イワミザワボックス)」を開設した。同協会は「商品を通じて岩見沢の魅力を全国に発信したい」と話す。新型コロナウイルスの影響で観光イベントの中止が相次ぎ、特産品販売の機会が減ったことから企画した。「岩見沢、空知のいいものをコンセプトに、老舗和菓子店金作屋の焼き菓子「こぶし」や、赤いりボン」のバームクーヘンなどの菓子類、名物のキジを使ったインスタントラーメン、こぶ志葉のマグカップ、コメなど約60点を扱う。職員が商品写真を一枚一枚撮影するなどして、2カ月ほどかけて準備。7月24日にスタートした。同協会は「生産者紹介も行い、岩見沢に興味を持ってもらえるサイトを目指したい」と話している。アドレスは<https://iwamizawabox.shop>。問い合わせは同協会0126・22・3470へ。(渡辺拓也)

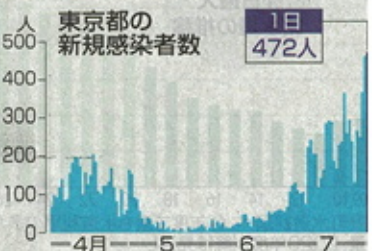
東京感染最多472人

3日連続で更新

東京都は1日、新型コロナウイルスの感染者が新たに472人報告されたと明らかにした。7月31日の463人を超えて過去最多を3日連続で更新。直近7日間平均は300人を超え、約312・6人となり、8月に入っても深刻な悪化傾向が続く。累計は1万3163人となった。都によると、新規感染者のうち、年代別では20代の216人と30代の108人で7割近くを占める。40、60代は計110人に上り、世代間の広がりが見られる状況が続く。70代以上は計14人、10代以下は計24人だった。重症者は31日から1人減の15人となった。経路が特定できたケースでは、家庭内が50人、ホストクラブなど夜の繁華街が29人、職場内が25人など。感染経路が不明なのは6割超の305人に上った。小池百合子知事は酒類提供の飲食店やカラオケ店に今月3日から31日まで午後10時までの時短営業を要請。今後の推移次第では都

国内は1532人

国内では、新たに1532人の新型コロナウイルス感染者が確認された。国内の新規感染者が千人を超えるのは4日連続。7月31日に次ぎ過去2番目の多さとなった。大阪で1065人、愛知で181人、福岡で121人が報告された。道内は18人(2面)自治体独自策次々、24面ソフトパン



祭り消え苦境の夏

露天商や音響、イベント業者



客席の距離を十分に取るなどの感染防止策が徹底された。開催日、7月11日、札幌市西区(田原一撮影)

仕事激減「生活できない」

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、道内の夏祭りや野外音楽ライブなどイベントの中止が相次ぎ、夏場がかき入れ時の露天商や音響業者の仕事が激減している。全国で感染が再び拡大し、政府はイベントの参加人数を5千人にする制限を8月末まで延長したが、5千人以上の中小規模の催しも自粛が続いており、イベント関係者は「今のままでは生活できない」と訴える。(札幌新聞、川崎学、水野真)

独自の指針策定

見通し立たない

屋内外で音楽を手がけるケイサウバンド(札幌市東区)の単打組、長(49)は先の見通しが全く立たず、苦しい」と話す。例年計7万人が訪れる道内最大の野外音楽フェスティバル「サッポロ・ロックフェスティバル」も、夏に盛り上がりを見せるはずの音楽ライブやスポーツイベントは軒並み中止し、売り上げは昨年の3割まで落ち込んだ。